

令和3年度
生駒市
一般会計補正予算
(第1回)

自治体はコロナ禍バブル？ 移動図書館事業費を削除する修正案が可決

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した令和3年度一般会計補正予算案が提出されました。

利用者が減少している公共交通機関や観光・飲食店等への支援、文化、体育施設の指定管理者への補填、感染症対応救急車の購入など総額約4億5千万円の増額補正ですが、その中に移動図書館事業(約1,800万円)が含まれていました。

コロナ禍で図書館の利用者が減っており、ブックモバイル(中型車を改造)と図書(1500~2000冊)を購入し、司書1名と補助員1名で市内5か所を月2回巡回することですが、次のような問題があります。

① 公共施設の管理計画では、市内5つの図書館とも「維持」することになっているが、

さらに移動図書館が必要なのかという検討がなされていない。

② 今回はコロナ対応交付金が活用できるが、次年度以降の維持管理費や次のモバイル更新時には市の単費で賄うことになり、持続的な運営が難しいのでは。

③ 狭隘道路や急坂の多い生駒市で安全に



和歌山県有田川町の移動図書館(有田川町HPより)

運行するためには、他市のように大型免許や2種免許を持つ運転手を採用すべきだが、人件費を甘く見積もっている。

読書の効能は承知していますし、身近にあれば便利です。しかし、すでに本の宅配サービスもありますし、令和2年度の補正予算でコロナ対策として電子書籍も購入しています。

コロナ前なら移動図書館など考えられなかった事業ですが、今はコロナ禍に対する国の支援も手厚く、市もこの機会を逃すまいと計画そっちのけの事業案を提出してきます。塩見は、改正・中浦・神山議員と当事業費を削除する修正案を提出し、修正案が可決しました。

「正しく揉める」大切さ

生駒市パートナーシップ宣誓制度を導入

生駒市は4月から、性的マイノリティのカップルが互いをパートナーとして日常生活において協力し合うことを宣誓するパートナーシップ制度を導入しました。塩見の活動公約にも掲げる、個人が尊重され、多様性を認め合える共生社会の実現に資するこの制度を歓迎しています。

ただ生駒市が、議会審査も不要な要綱で定め、パブリックコメントも取らなかったのは遺憾です。アンケートでも生駒市民の性的マイノリティ

に対する人権意識は高く、パブコメは必要ないと市は判断したようですが、パブコメをとれば当事者ならではの気づきも寄せられたかもしれません。

反対意見が寄せられたとしても、制度に込めた市の思いを丁寧に説明し、理解を求める必要があったのではないのでしょうか。

せっかくの意見のぶつかり合いの場から「逃げた」感が否めません。

茶番に付き合わされた保護者

市立幼稚園の預かり保育料金体系を再々々改定

3月9日の教育委員会において市立幼稚園の預かり保育実施規則の改正があり、4月から保育料金が令和元年10月の値上げ前のレベルに引き下げられています。1年半の間に3回も料金改定があり、関係者は振り回され続けました。

今回の改定理由は「長引く新型コロナウイルスに鑑みて」というものですが、利用控えの原因はコロナよりも値上げです。「コロナ」はあらゆる欠陥を治癒する「魔法の杖」になっています。

昨年末に実施した保護者アンケートの結果も踏まえたことですが、アンケートは、反対の声を無視できなくなった、でも自らの判断ミス認めたくないトップが自身の「粗」を隠すために使われたにすぎず、これに付き合わされた保護者もいい迷惑です。



アンケートのお願い

「塩見まきこ市議会ニュースレター」の紙面づくりに役立てるため、ご協力ください。下のQRコードをスマートフォンでお読み取りください。スマートフォンをお持ちでない方は、塩見まきこのWebサイトからもお答えいただけます。



●2021年春号についてアンケート➡

編集後記

●新型コロナウイルス感染症の終息が見通せません。国も自治体もリーダーの判断力と政策力が問われます。判断力の欠如したリーダーは、やっている感だけを醸し出すことに注力しますが、私たちはそれに惑わされないよう確かな

目を持たなければなりません。このニュースレターが、その一助となれば幸いです。●今号から少し模様替えをしました。文字数が多いとのご意見にお応えしつつも、必要な情報を過不足なくお届けできるよう編集したつもりです。ご意見をお聞かせください。

塩見 牧子



し お み 塩見まきこ

市議会 newsletter 2021 年/春号

“まっすぐ”が通る生駒に！



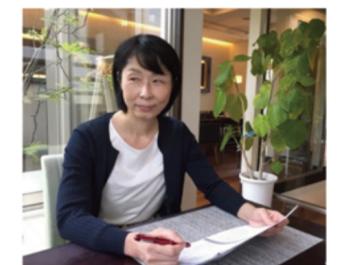
巻頭言 自然エネルギーは地球に優しいか

Page2 いこま市民パワー(株)は政策実現の根拠なく設立
市と市民パワー(株)との契約は無効だった！が…

Page3 令和3年度生駒市一般会計予算
市制50周年記念事業/複合型コミュニティ事業/保育園での紙おむつごみの回収
/自然エネルギーの活用補助金/公共施設の管理基金の積立て

Page4 自治体はコロナ禍バブル？ 移動図書館事業費を削除する修正案が可決
「正しく揉める」大切さ 生駒市パートナーシップ宣誓制度を導入
茶番に付き合わされた保護者 市立幼稚園の預かり保育料金体系を再々々改定
アンケートのお願い/編集後記

塩見牧子(しおみまきこ) 1965年3月8日大阪生まれ。1972年に生駒に移り住む。生駒東小学校、緑ヶ丘中学校、京都女子高等学校、同大学卒業。同大学大学院文学研究科修了。会社員、学校図書館司書、中・高非常勤講師を経て2007年4月、生駒市議会議員に初当選。①将来世代に元気なまちのバトンを渡す、②誰もが生きづらさを感じることなく暮らせる共生社会をつくる、③フェアで市民本位の市政運営を築くための取組みやしくみづくりの提案を活動公約としています。



blog



Facebook



Twitter